

様式1 令和7年度 山梨県立山梨高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針 校訓「至誠無息」をあらゆる生活の中での心得として、常に目標や理想を高く掲げ、真摯に生きる生徒の育成

山梨県立山梨高等学校校長 藤巻 理恵

本年度の重点目標	I 学びの本質に迫り、自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成
	II 誇りと気概を持ち、自他を敬愛する豊かな心を持つ生徒の育成
	III 生命や人権を尊重し、心身ともにたくましい生徒の育成
	IV 地域や保護者に信頼される学校づくり

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自己評価						
番号	評価項目	本年度の重点目標	具体的方策	年度末評価(2月1日現在)		
				方策の評価指標	自己評価結果	達成度
1	自ら考え、判断し、表現できる生徒の育成を目指す、個別最適な学びと協働的な学びの充実	①ICTの活用等による個に応じた指導の充実 ②学習意欲を高め、予習、授業、復習を軸とした学習習慣の確立につながる学習評価の実践 ③生徒同士や多様な他者との協働による、より良い学びの生成のための探究的な学習活動の充実	①ICTの活用等による個に応じた指導の充実	学校評価アンケート、授業アンケート	A	ICT機器を活用した指導の充実に向けて、総合教育センターから講師を招き、職員研修会を実施した。また、全職員がe-ラーニングを活用して研修も実施した。 ・昨年度・今年度と観点別評価の実施において新たな運用方法で実施し、より生徒の学習実態が評価によりよく反映されるようになり、学校評価アンケートの結果も改善されてきた。 ・校外学習や「総合的な探究の時間」などを通して、生徒同士や外部の方と探究的な活動を実施することができ、学びを深めることができた。
			②学習意欲を高め、予習、授業、復習を軸とした学習習慣の確立につながる学習評価の実践	学校評価アンケート、授業アンケート、定期試験		
			③生徒同士や多様な他者との協働による、より良い学びの生成のための探究的な学習活動の充実	T事後アンケート、ポートフォリオ作成状況		
2	誇りと気概を持ち、多様化する価値観を受け入れながら自他を敬愛する豊かな心を持つ生徒の育成	①朝読書や学校図書館等の積極的な利活用による読書活動の充実 ②自己有用感・自己効力感を育む多様な体験活動の推進 ③主権者として意欲的に社会参画する力を醸成するためのクロスカリキュラムの推進	①朝読書や学校図書館等の積極的な利活用による読書活動の充実	学校評価アンケート、図書館利用・貸出状況の調査	B	・図書館利用者数も年々増加しており、朝読書についても、学校評価アンケートでも8割を超える生徒が朝読書に積極的に取り組んでいるとの結果を得ており、読書活動の活性化に少しずつ繋がっていった。 ・ボランティアの依頼も増えており、生徒への情報発信も適宜行っており、それに伴いボランティア活動参加者も増加傾向にある。 ・授業の中で主権者教育を行ってはいるが、組織的な取り組みを推進することができなかった。
			②自己有用感・自己効力感を育む多様な体験活動の推進	ボランティア活動状況及びT事後アンケート		
			③主権者として意欲的に社会参画する力を醸成するためのクロスカリキュラムの推進	学校評価アンケート、授業アンケート		
3	生命や人権を尊重し、心身共にたくましい生徒の育成	①感染症対策も踏まえた、健康で活力ある生活を送る土台となる基本的な生活習慣の確立 ②他者と協働してより良いものを創り上げる生徒会活動・部活動の推進 ③命を守る「自助・共助」の行動につなげる安全・防災教育の推進	①感染症対策も踏まえた、健康で活力ある生活を送る土台となる基本的な生活習慣の確立	学校評価アンケート	A	・食生活や睡眠などを意識した健康的な生活習慣作りの呼びかけや、手洗い、うがい等の予防対策の周知及びインフルエンザなどの感染症の発生状況の把握に努めた。生徒の学校評価アンケートで「健康的な生活を意識している」割合が昨年度よりも多い85%となった。 ・生徒会を中心に昨年度からスタートした地域との交流活動度について、今年度は交流先も増え、地域からのニーズも高まっている。 ・定期的に避難訓練等の防災教育を実施し、命を守る行動についての意識向上に努めた。防災等の安全教育に関する学校評価アンケートの結果も昨年度よりも向上した。
			②他者と協働してより良いものを創り上げる生徒会活動・部活動の推進	学校評価アンケート、生徒会誌による活動状況の検証		
			③命を守る「自助・共助」の行動につなげる安全・防災教育の推進	学校評価アンケート、行事の検証		
4	地域や保護者に信頼される学校づくりの推進	①ホームページ等を利用した定期的な情報発信や学校訪問等による広報活動の充実 ②地域の行事やボランティア活動への積極的な参加 ③教員の働き方改革の取組として、外部人材の活用による校務の精選・効率化	①ホームページ等を利用した定期的な情報発信や学校訪問等による広報活動の充実	学校評価アンケート、広報物の検証、オープンスクールへの参加状況	B	・ほぼ毎日更新する学校ホームページや、広報誌等により、学校外部への情報発信に努め、学校評価アンケートでも高い評価を得ている。 ・地域社会からの依頼も増加傾向にあり、それに伴い参加する生徒も増えている。 ・部活動において地域の専門家やOB等の外部指導者の活用を進めている。
			②地域の行事やボランティア活動への積極的な参加	ボランティア活動状況、学校評価アンケート		
			③教員の働き方改革の取組として、外部人材の活用による校務の精選・効率化	外部人材活用実績、学校評価アンケート		

学校関係者評価	
実施日(令和8年2月17日)	
評価	意見・要望等
4	・生徒が満足し、安心して学ぶ取り組みをつけて下さい。 ・わかりやすい授業をしてほしい。明るく楽しく。 ・ICT活用は今では重要な方法と理解している。情報が容易に手に入るがフェイクニュース等も多いと聞くので見極める力を持つ事と、SNSによる倫理観も併せて学んで欲しいと思う。 ・生徒の回答で学習の意欲を高めるための授業の評価が他項目より低くなっていった。どのような点が改善に必要か具体的にわかると良いのではないかと。 ・e-ラーニングでの研修について、内容を見ていないため私のイメージになるが、資料からの一方的な内容となる感があるので教員間で内容の確認をしてみた方が良いのではと思う。 ・前回、授業見学をさせていただき、ICTを積極的に活用し、生徒が生き生きと授業に取り組んでいた。
4	・ボランティアの依頼だけに応じるのではなく、生徒たちが主体的に課題を見つけ、それを解決するためにどんなことが必要かを考え、行動にいかなげることで自己有用感を高められると思います。 ・本を読む事はすばらしい。知識は本から。図書館の利用者をもっと多く。 ・ボランティア活動への積極参加は良いと思います。 ・多様化する価値観を理解するためには物事を多方向から見る事の大切さを学んでほしい。もう学校との交流はこのように対して良い機会と考えられる。この項目3、4にも通じるので、交流の機会を増やせると良いと思う。 ・書店が減少している今日、図書館利用数が増加し、朝読書も充実している様子がうかがえた。
4	・様々な社会問題に目を向け、自分自身を大切にできる生徒の育成を期待します。 ・定期的な防災教育はすばらしい事だと思います。 ・インフルエンザや新型コロナウイルスなどの感染症の流行もあり、関心が高いと思う。 ・地域防災については、自分に「何が出来る」という事を考えてみて欲しい。 ・健康は全ての基となるので、引き続き力を入れて進めていきたい。 ・職員数の削減への対応は、難しいことも多いと思うが、PTA・保護者・地元との協力体制を作り、対応できればと思う。 ・コロナやインフルエンザ等感染症流行の中で健康管理意識の向上を図り、適切に対応している。
3	・中高連携の取り組みがあるといいなと思っています。 ・地域の行事に参加していただきありがたい。長く続けてほしい。 ・地域との関わりを持ち、地元から応援される高校を目指してほしい。 ・梨窓祭などが、学内だけの行事になってしまっているので、地域との交流ができる様な方策はないだろうか。 ・ホームページが充実しており、同窓会の研修会等も掲載させていただき、感謝しています。